

NISAの現況

～金融庁「NISA口座の利用状況調査」より～

資産運用普及センター

Daiwa Asset Management

2026年7月16日

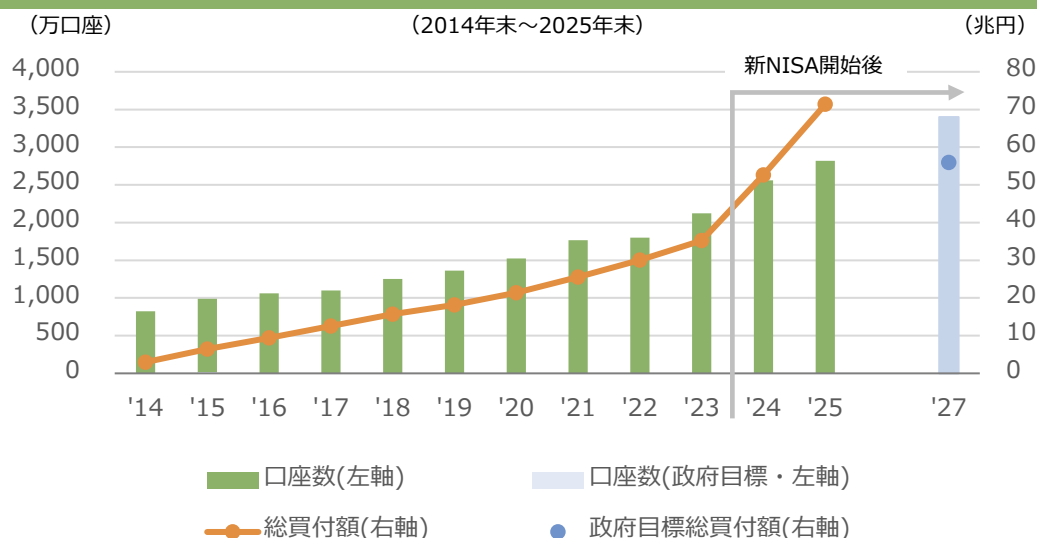
NISAの利用状況

- NISA制度開始（2014年）以来の総買付額は2025年末時点で約71兆円と政府目標（2027年末までに56兆円）を大きく上回りました。2024年末からは18兆7,487億円（35.6%）増加しています。
- 一方、NISA口座数は2025年末で2,821万口座となっています。口座数の政府目標は2027年末で3,400万口座なので、目標達成には2年間で約580万口座の増加が必要ですが、2025年の増加数が262万口座だったことを考慮すると、目標達成はやや難しそうです。ただし、2027年からはいわゆる「こどもNISA」が開始予定のため、こどもNISAの普及次第では目標達成の可能性も出てきそうです。

都道府県別のNISA口座開設状況

- 2025年末の都道府県別のNISA口座数は東京都が最も多く、上位は神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県と続いています。一方、最も少なかったのは鳥取県で、下位は高知県、島根県、佐賀県、秋田県と続いています。
- 18歳以上人口を分母として都道府県別の口座開設率を算出すると、上位は東京都、神奈川県、奈良県、兵庫県、京都府、下位は青森県、岩手県、北海道、秋田県、鹿児島県となっています。

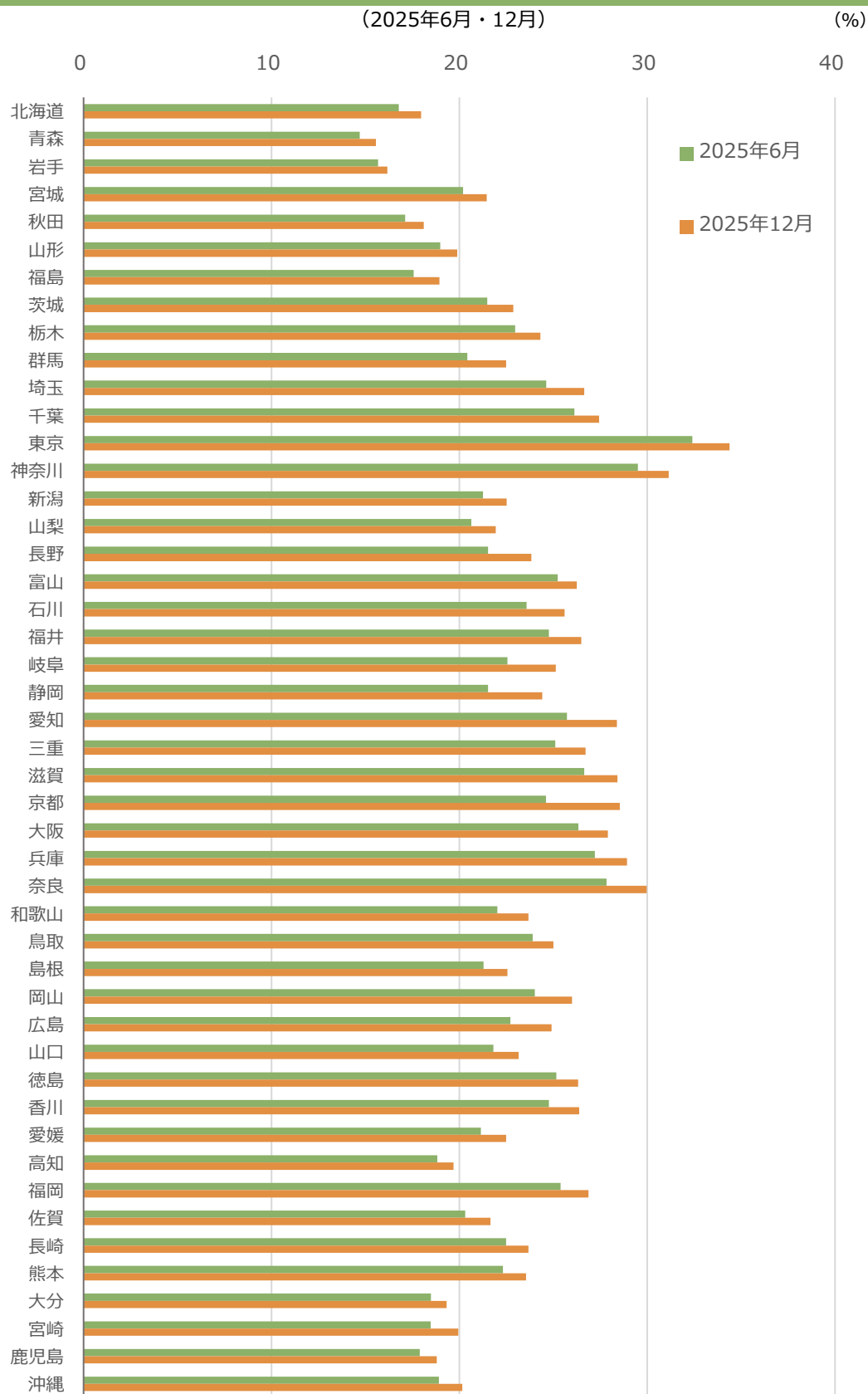
NISA利用状況推移（口座数と総買付額）



※ 2014～2017年の計数（「口座数」および「総買付額」）については一般NISAの値
※ 2018～2023年の計数（「口座数」および「総買付額」）については一般NISAとつみたてNISAの合計値
※ 2027年は政府目標

（出所）金融庁「NISA口座の利用状況調査」

NISA口座の都道府県別口座開設率



※口座開設率は口座数÷18歳以上人口で算出（18～19歳は15～19歳の40%として推計）

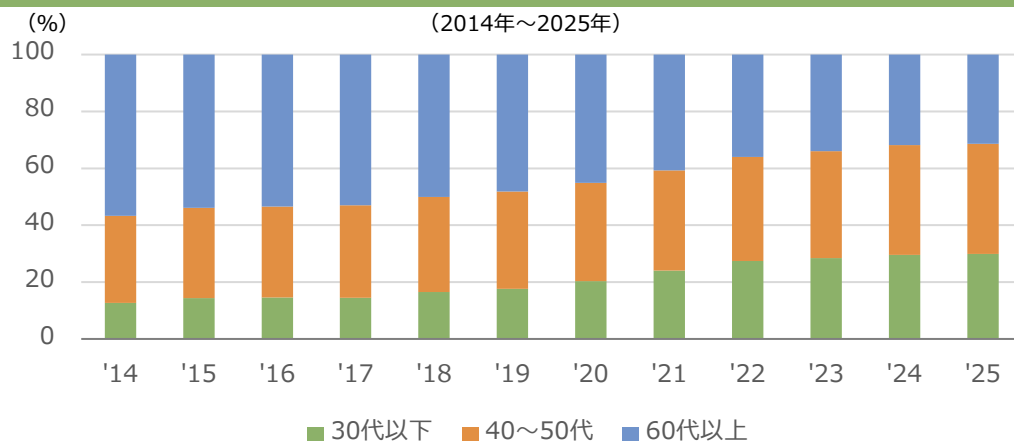
※人口は2025年1月1日時点

（出所）金融庁「NISA口座の利用状況調査」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

NISA口座の年代別構成比

- 2018年までは60代以上が過半を占めていましたが、現在は40～50代が約4割を占め、60代以上と30代以下がいずれも約3割を占めています。

年代別構成比

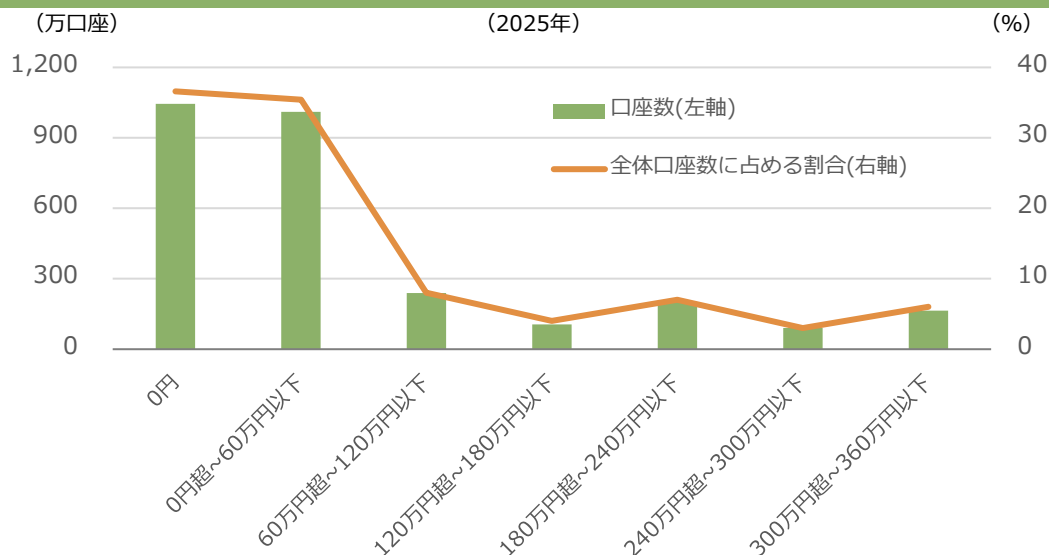


(出所) 金融庁「NISA口座の利用状況調査」

NISAの年間買付額別口座数

- 2025年の年間買付額は、口座数ベースで0円と0～60万円が合計で全体の72.0%を占めています。

年間買付額別口座数



※ 1月1日～12月31日中の、投資枠の利用状況の分布であり、12月31日時点で廃止されている口座の取引を含む
 ※ 「0円」欄に記載の口座数は、1月1日～12月31日中に一度も買付がなかった口座数

(出所) 金融庁「NISA口座の利用状況調査」

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。